

経済学

論点

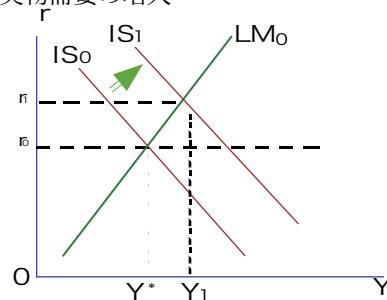
金融政策のルール

IS-LMモデルにおいて、貨幣供給量を一定に保つか ($M=M^*$:マネーサプライ・ターゲティング政策)、金利水準を一定に保つようにマネーサプライを内生的に変化させるか ($r=r^*$:金利ターゲティング政策) という金融政策のルールの違いを明らかにしなさい。

<解説>

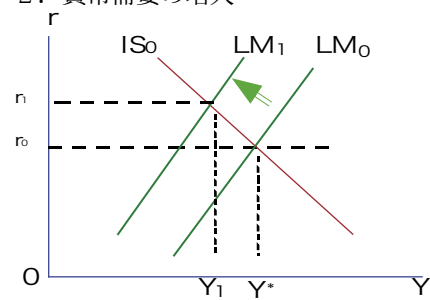
今、経済の変動が、①実物需要の変動 (IS曲線のシフト)、②貨幣需要の変動 (LM曲線のシフト) という二つの要因から生じるとき、所得水準の変動を少なくし、望ましい国民所得水準 (Y^*) からの乖離をできるだけ小さくするような**経済安定化政策**として金融政策のルールを考えた場合、以下のようにケースごとに妥当な政策が異なってくる。

1. 実物需要の増大



実物経済の一時的拡大
(IS曲線の右シフト)

2. 貨幣需要の増大



貨幣需要の一時的拡大
(LM曲線の左シフト)

Y: 国民所得水準 r: 利子率 M: 貨幣供給量 *: ターゲットレベル

金融政策のルール



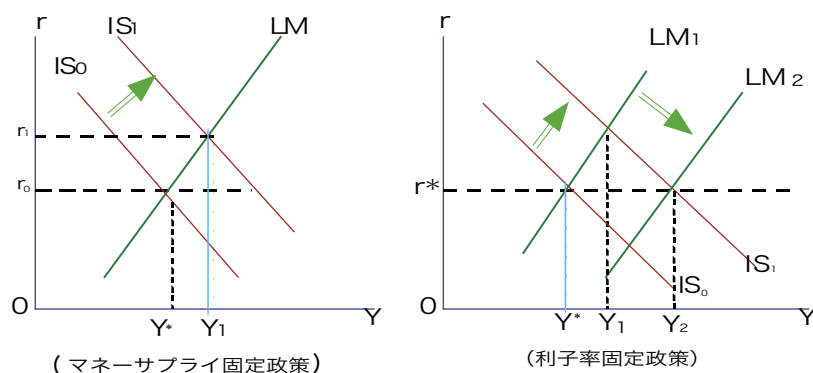
実物需要の増大時



現在、マネーサプライ・ターゲティング（貨幣供給固定）政策の下で**実物需要が拡大**すると、所得の増大に伴って貨幣需要も増大するが、貨幣供給が元のままであるため、**利率が上昇**し、投資需要の減少（**クラウディングアウト**）が生じて、新しい国民所得 Y_1 になる。

これに対して、**金利固定政策**のもとでは貨幣供給も増大するのでクラウディングアウトは見られず新しい国民所得 Y_2 に増加する。すると、前者の方が変動が小さい

($Y_1 - Y^* < Y_2 - Y^*$) ため、**経済安定化のためには貨幣供給固定政策の方が望ましい**。



貨幣需要の増大時



また、貨幣需要の一時的拡大が見られる場合、貨幣供給固定政策のもとでは、金利が上昇して**クラウディングアウト**（民間投資の締め出し）が起きて、国民所得水準が Y_3 の水準へ減少させる。

しかし、金利固定政策のもとでは貨幣需要の増大に伴って貨幣供給も増加して利率がもとの水準に戻るので国民所得水準 Y^* は元に戻る。

したがって、このとき**経済安定化のためには後者の金利ターゲティング政策の方がよい**。

